

霧島山

概 況

御鉢付近を震源とする火山性微動が 7 回発生し、火山性地震も微動発生の前後に少し増加しました。新燃岳では火山性地震は少なく、火山性微動はありませんでした。

噴煙は見られず、噴気活動等に変化はありませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は見られず、表面現象に大きな変化はありませんでした。

地震・微動活動の状況

気象台機動観測点および東京大学高千穂西観測点(御鉢火口の西 1.1km)のデータで、13 日、21～23 日に御鉢付近を震源とする火山性微動を観測しました。東京大学高千穂西観測点のデータによると、微動回数と継続時間は 13 日 1 回 2 分、21 日 1 回 5 分、22 日 2 回 7 分（1 分、6 分）、23 日 3 回 9 分（6 分、2 分、1 分）でした。微動の最大振幅は 21 日の 18.1 $\mu\text{m/s}$ でした。昨年 6 月以降に発生した火山性微動のなかでは最大振幅は中程度、継続時間は短いものでした（図 1）。

また、御鉢付近を震源とする微小な火山性地震が微動発生前後に少し増え、21～25 日にかけて 10 回発生しました。その他の期間は火山性地震の発生はほとんどなく、月合計は 12 回(10 月：4 回)と少ない状態で推移しました(図 1)。

新燃岳では火山性地震の少ない状態が続きました。気象台震動観測点 A 点(新燃岳火口の南西 1.7km)で観測した地震回数は 17 回(10 月：37 回)でした(図 1)。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原、御池 - 中岳、御池 - 高千穂峰、中岳 - 高千穂峰の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした(図 2)。

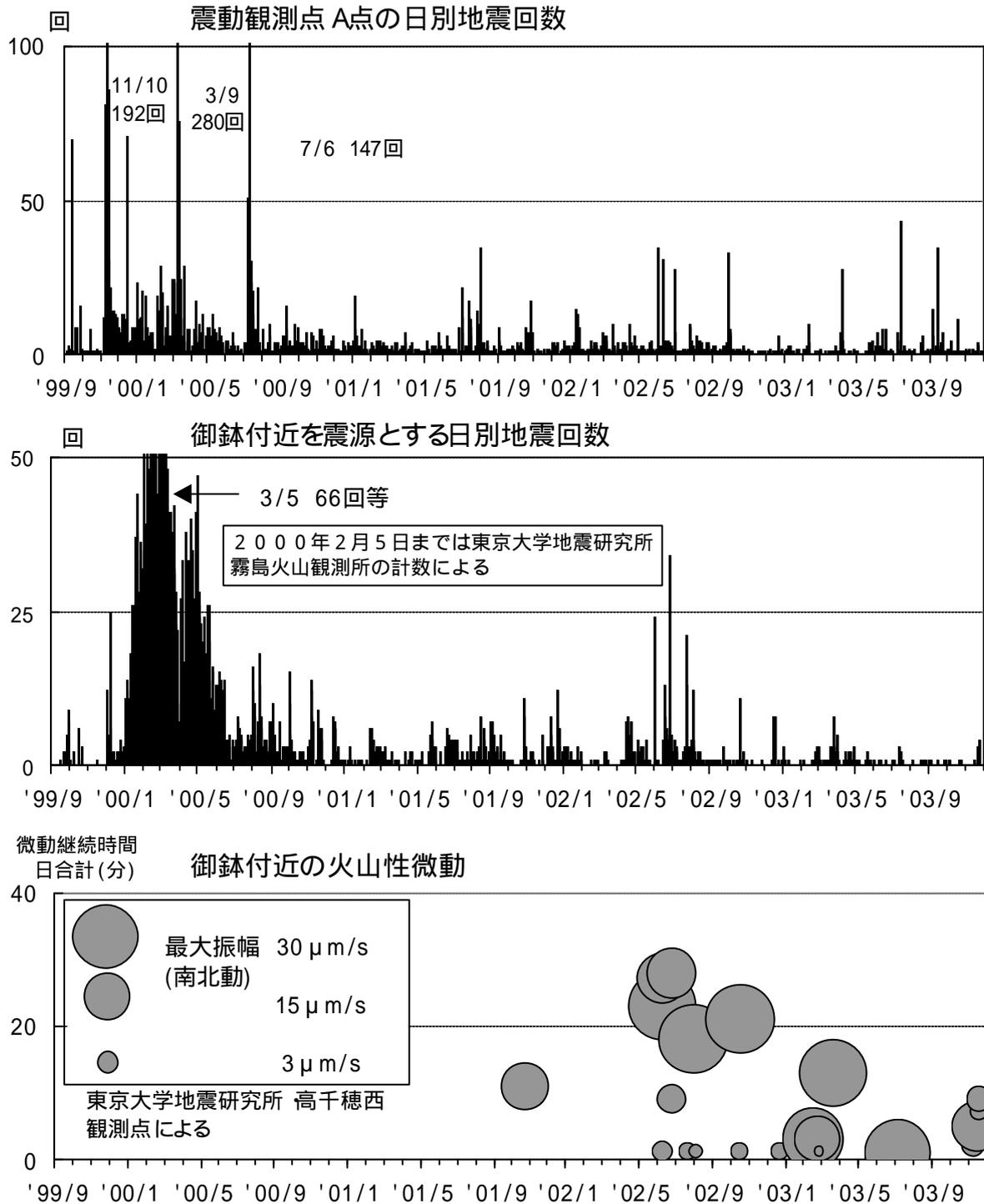


図1 火山活動経過図(1999年9月~2003年11月)

- ・ 御鉢付近の火山性微動は11月13日に1回、21~23日に6回発生した。下のグラフは、横軸は微動が発生した年月、縦軸は微動継続時間、円の大きさは微動の最大振幅を表している。

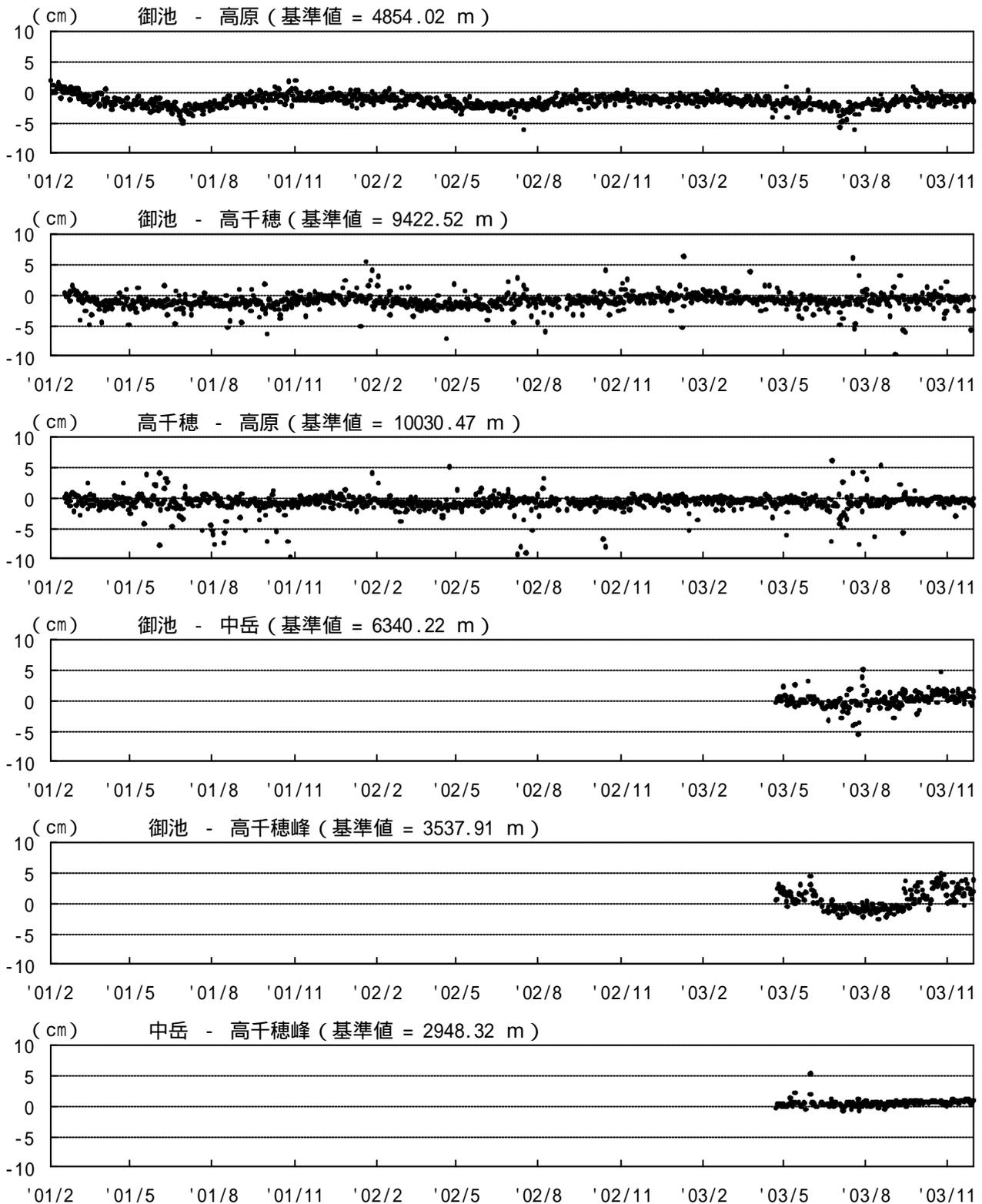


図2 GPSによる基線長変化

は2001年2月2日から、 と は2001年2月19日から、 、 、 は2003年4月24日から、それぞれ2003年11月30日までの基線長変化を示した。

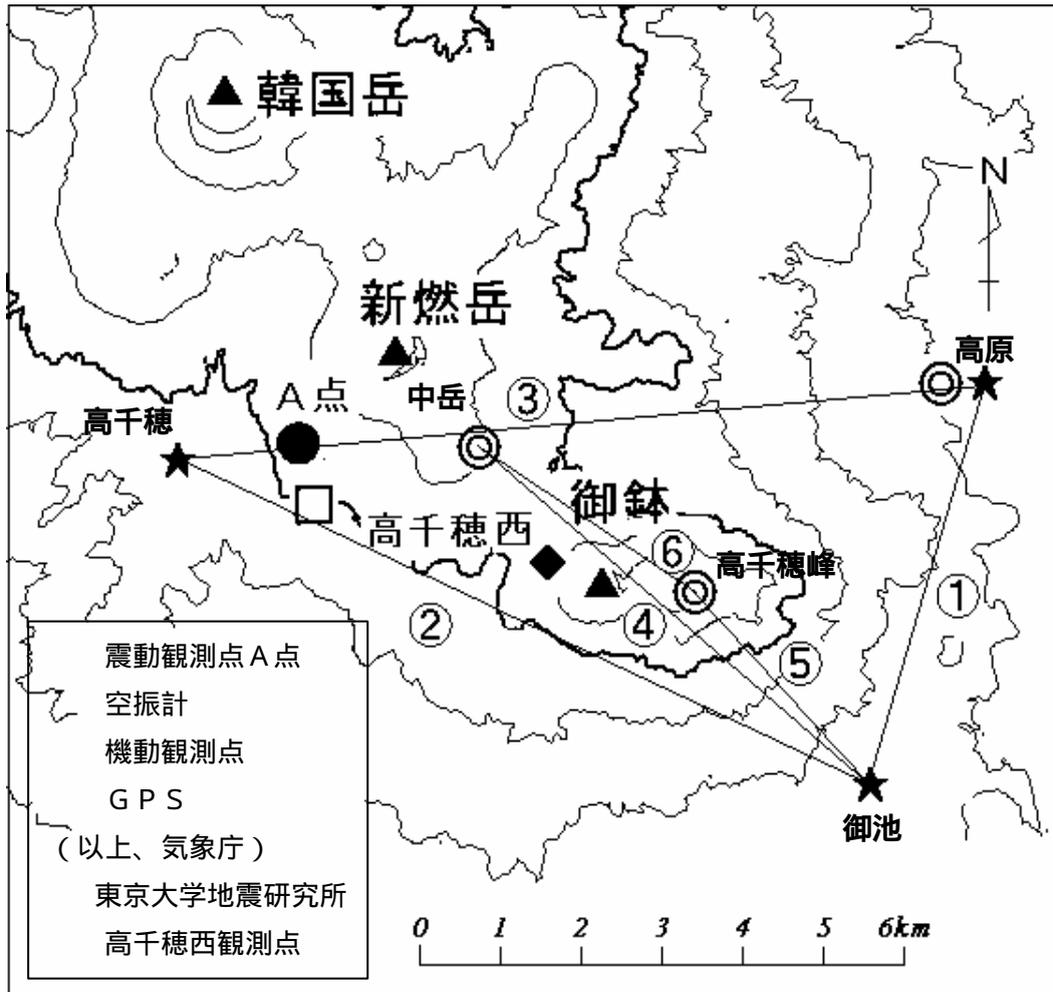


図3 火山観測点位置図